

➤ 27日 木曜

ヨハネ



16:16 しばらくすると、あなたがたはもうわたしを見なくなります。またしばらくすると、わたしを見ます。」

16:17 そこで、弟子たちのうちのある者たちは互いに言った。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見る』、また『わたしは父のもとに行くからだ』と言われるのは、どういうことなのだろうか。」

16:18 こうして、彼らは「しばらくすると、と言われるのは何のことだろうか。何を話しておられるのか私たちには分からない」と言った。

16:19 イエスは、彼らが何かを尋ねたがっているのに気づいて、彼らに言われた。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見る』と、わたしが言ったことについて、互いに論じ合っているのですか。」

16:20 まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたは泣き、嘆き悲しむが、世は喜びます。あなたがたは悲しみます。しかし、あなたがたの悲しみは喜びに変わります。

16:21 女は子を産むとき、苦しみます。自分の時が来たからです。しかし、子を産んでしまうと、一人の人が世に生まれた喜びのために、その激しい痛みをもう覚えていません。

16:22 あなたがたも今は悲しんでいます。しかし、わたしは再びあなたがたに会います。そして、あなたがたの心は喜びに満たされます。その喜びをあなたがたから奪い去る者はありません。

16:23 その日には、あなたがたはわたしに何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしの名によって父に求めるものは何でも、父はあなたがたに与えてくださいます。

16:24 今まで、あなたがたは、わたしの名によって何も求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けます。あなたがたの喜びが満ちあふれるようになるためです。

イエス様は、十字架の死によって弟子たちと別れること、それゆえに彼らが「嘆き悲しむ」ことを告げられます。しかし、それは「喜びに変わる」と宣言されます。死と悪魔に勝利して復活されるからです。

死については「女が子を産むとき」にたとえておられます。それは最後には「苦痛を忘れてしまう」ほどの喜びです。きっと私たちの死も同じでしょう。肉体の命を終えることは苦痛のようですが、天での喜びはすぐに訪れ、すべての苦しみを忘れるほどの喜びに満たされるのです。

イエス様が復活されてからは「もう一度あなたがたに会います」と、その希望を明かにしておられます。復活の後の「喜び」はだれも「奪い去る」ことができないほど力強く、確かなものです。さらに私たちと御父との隔てがなくなるので、「求めることは」与えられるのです。すばらしい復活の恵に感謝して、その恵によって生きましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

